

‘元氣るんるん’は湯田小学校のほけんだよりです。

2022年(令和4年)1月21日  
福山市立湯田小学校

# 元氣るんるん



## 2022年 あけましておめでとございます！



今年(ことし)はトラ(どし)年(とし)。どんな年(とし)になりますやら。  
 お先(さき)ま(ま)っ(ら)ら(ら)な(な)ん(な)て(て)言(い)わ(わ)な(な)い(い)で(で)、こ(こ)ん(ん)な(な)時(とき)だ(だ)か(か)ら(ら)こ(こ)そ(そ)、虎(こ)視(し)眺(た)々(た)と(と)チ(ち)ャ(ャ)ン(ン)ス(ス)を(を)つ(つ)か(か)ま(ま)う(う)じ(じ)ゃ(ゃ)～あ(あ)～り(り)ま(ま)せ(せ)ん(ん)か(か)。虎(こ)の(の)威(い)を(を)借(か)る(る)き(き)つ(つ)ね(ね)に(に)は(は)な(な)ら(ら)ず(ず)、ど(ど)う(う)せ(せ)な(な)ら(ら)、自(じ)分(ぶん)の(の)人(にん)生(せい)こ(こ)の(の)手(て)で(で)つ(つ)か(か)み(み)た(た)い(い)が(が)あ(あ)ー。時(とき)に(に)は(は)、ト(ト)ラ(ラ)ブ(ブ)ル(ル)こ(こ)と(と)も(も)あ(あ)る(る)さ(さ)あ(あ)～。も(も)う(う)、や(や)っ(つ)と(と)ら(ら)れ(れ)ん(ん)！と(と)思(おも)う(う)よ(よ)う(う)な(な)こ(こ)と(と)も(も)あ(あ)る(る)さ(さ)あ(あ)～。で(で)も(も)、こ(こ)ち(ち)と(と)ら(ら)い(い)き(き)て(て)る(る)ん(ん)だ(だ)い(い)！な(な)ん(ん)く(く)る(る)な(な)い(い)さ(さ)あ(あ)～。ハ(ハ)イ(イ)サ(サ)イ(イ)、ハ(ハ)イ(イ)サ(サ)イ(イ)、元(げん)氣(き)を(を)出(だ)し(し)て(て)！ハ(ハ)イ(イ)サ(サ)イ(イ)、ハ(ハ)イ(イ)サ(サ)イ(イ)、勇(ゆう)氣(き)を(を)出(だ)し(し)て(て)！ト(ト)ラ(ラ)イ(イ)！ト(ト)ラ(ラ)イ(イ)！ト(ト)ラ(ラ)イ(イ)！心(こゝろ)の(の)ト(ト)ラ(ラ)ン(ン)ク(ク)に(に)、夢(ゆめ)と(と)希(き)望(ぼう)を(を)い(い)っ(つ)ぱ(ぱ)～い(い)つ(つ)め(め)こ(こ)ん(ん)で(で)、さ(さ)あ(あ)、2022年(ねん)、ス(ス)タ(タ)ー(ー)ト(ト)し(し)ま(ま)し(し)よ(よ)う(う)。そ(そ)う(う)し(し)ま(ま)し(し)よ(よ)う(う)。シ(シ)ュ(シュ)ワ(ワ)～ツ(ツ)チュ(チュ)！

## 1月の保健目標 < 新型コロナや感染症を予防しよう！ >

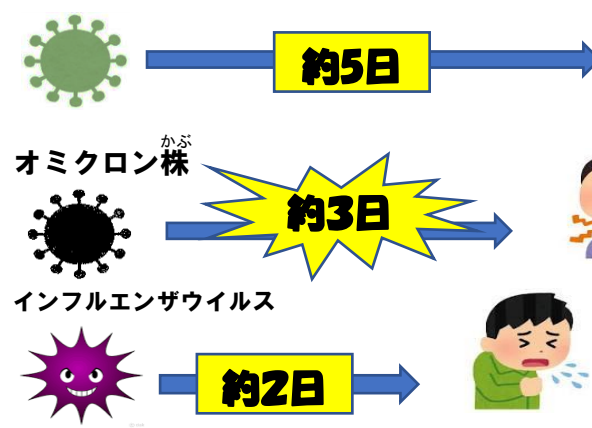
### 保健室物語

…ある日の保健室  
 「Bくんがけがをしたので見てください。」  
 と、付き添いできたAちゃんが言いました。  
 Bくんのひざを見ると、直径1cmくらいの小さなすりきず。  
 「傷口洗ってってきたの？洗ってないじゃん。洗ってきて。」  
 と、洗いに行かせ、帰ってきたので、見るとほとんど洗ってないいいい！  
 「洗ってないじゃん！それって、水つけてるだけじゃん！」  
 と言ったら、

「だって、痛いのがきらいだもん。」  
 なんですってえええ！なんたるこつちや…  
 「先生だって、だれだって、痛いのがきらいです！」  
 見ると、Bくん、右手の手のひらを左手でそお～とかくしている。なんじゃらほい？  
 「ひよっとして、手のひらもけがしてるんじゃないの？見せて…」  
 「これはいいんだよ。自分で洗うから。」  
 「ひざだって洗えてないのに？」  
 「大丈夫！大丈夫！」  
 と言って、Bくんは行ってしまったあ。なぬ？

### 基本的な感染防止対策の徹底

#### ◆ オミクロン株の感染から発症までの期間



アメリカのネブラスカ州、そしてノルウェーからの報告では、オミクロン株に感染した人と接触し、のちに発症した人の潜伏期間は約3日でした。また、韓国からも平均潜伏期間は、3.6日であったと報告されています。従来の新型コロナウイルスよりも潜伏期間が約2日短くなっている、というようになります。

#### ◆ オミクロン株の特徴

- ① 感染力が強い
- ② 症状が軽い
- ③ 重症化率が低い
- ④ 再感染リスクが増加する
- ⑤ ワクチンの効果を弱める

イギリスのオミクロン株に感染した18万人のデータからオミクロン株はデータ株とくらべて、「のど痛み」が多く、今までのウイルスの症状の頻度とくらべて、嗅覚・味覚症は少なく、鼻づまり・くしゃみ等、いわゆる「かぜ症状」が多くなり、感染しても無症状の人もある割合でいます。

#### 【政府 新型コロナ分科会 尾身会長】

- \* オミクロン株の感染力は、従来の株とは異なる。特徴にふさわしい効果的な対策を早期に講じることが重要。これまでの「人流抑制」ではなく「人数制限」というのがキーワードになる。
- \* オミクロン株の感染経路の調査でわかってきたのは、多くの人が集まって、飲食して、大声を出し、換気が悪い環境で多くの感染が起きている。飲食店だけでなく、家庭や職場でも多くの人が集まって大声が出るパーティーなど、感染リスクの高い場をさけることが重要。
- \* オミクロン株は感染拡大スピードが速い一方で、感染が下がるのも速い可能性も指摘されている。ただ、感染のピークがものすごく高くなれば、多くの高齢者に感染が広がり、感染者が減っても重症者が増え続けてしまうおそれがある。また、医療機関などで欠勤者が出て、社会全体の機能維持に支障が出るということもさげなければならない。感染を早く下降方向に持って行くことは重要だ。



